

諏訪湖クラブニュース No. 21

平成 26 年 12 月 発行

も く じ

- 巻頭 平成 26 年の年末を迎えて
- 岡谷小のあり方検討委員会に参加して
- 信州ネット SUWA 秋のイベント 報告
- セントルイス訪問
- ポール八段のお弟子さんたち
- 理事会報告



事務局では 皆さんからの投稿を募集しております。

また、諏訪湖クラブに対するご意見ご要望なども併せてお寄せいただければ幸いです。

寒い日が続きますが、どうか皆様ご健康で良いお年をお迎え下さいますよう、心よりお祈りいたします。



企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局
TEL/FAX 0266-58-0490
E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

諏訪湖クラブニュース

No. 21

平成26年の年末を迎えて

諏訪湖クラブ会長 沖野 外輝夫

年々、一年が短く感じるようになり、今年もいつの間にか年末を迎える時期となりました。私と同世代の会員の皆様も同じようなご感想をお持ちでしょうか。幼い時代には一年が長く感じ、お正月が来るのを首を長くして待っていたことを思い出します。「早く来い来いお正月・・・」と歌っていたのはついこの前の事と思っていたのに、まだまだ先の事と考えていた喜寿を今年迎え、それもあっという間に過ぎていく感じがします。

今年は諏訪市とアメリカ・セントルイス市との間で姉妹都市関係が締結されてから 40 年になりました。その記念行事として 8 月にはセントルイス市から先方の姉妹都市委員会諏訪部会の関係者が来訪、高島城公園内で桜の植樹と記念碑の建立が行われ、セントルイス市お諏訪太鼓のグループが太鼓を演奏しました。このグループは故小口大八氏がセントルイスを訪れた際に結成され、以後活発に演奏活動を続け、毎年ミズーリ州立植物園での日本祭では主催者の核的存在となって活動してきています。両市の文化交流の架け橋として無くてはならない存在とも言えます。私も諏訪国際交流協会の会長としてセントルイスを訪れた際には大変お世話になりました。ややジャズ調の演奏はお諏訪太鼓本家にとっては問題のようですが、聴衆には気持ちよいリズムのように思いました。

セントルイスと言えば、年配の方々には西部劇を思い出し、世界一の大河、ミシシッピー川の流れる目に浮かぶのではないのでしょうか。40 周年記念で訪米した際にはこのミシシッピー川の船上でジャズ演奏を聴きながら、両市の交歓会が開かれました。昭和 12 年生まれ、戦中派の私にとっては夢にも思っていなかった情景ですが、国際交流のあるべき姿を見ることのできた、感激すべきタベでもありました。夜空に高く浮かぶゲートアーチを眺めながらのクルージングもなかなかの趣向でした。諏訪であれば、諏訪湖の夜景を眺めながらのクルージングでしょうか。

セントルイス市から北西、ミズーリ川の左岸沿いにセント・チャールズという街があります。ミズーリ州最初の州都となった街です。観光地としてはあまり知られていないようですが、私の好きな街の一つで、今回の訪米団の一部の方々と一時を過ごしてきました。西部劇によく出てくる保安官事務所や旧い街並みが保存されていて面白い街ですが、残念ながら保安官事務所は今回改修中で見ることは出来ませんでした。シラカシの落葉が煉瓦道に舞う風景はややヨーロッパ風の街並みとマッチして絵画の中に溶け込んだような錯覚を覚えました。諏訪の街づくりにも参考になりそうな街です。

今年は年越えのがん治療に始まり、後半は韓国（シンポジウム）、アメリカ（国際交流）への旅と、思いがけない事の連続でしたが、何とか元気に過ごすことが出来ました。来年もよろしくお祈りします。



セント・チャールズの街並みです
昔この煉瓦道を馬車が通り、三々五々散歩する街の人たち、店を出入りする西部の人たちで賑わっていた風景が目には浮かぶようでした

岡谷小あり方検討委員会に参加して

諏訪湖クラブ理事 八幡 義雄

●岡谷小あり方検討委員会の設立

平成 18 年 7 月に岡谷市花岡区の小田井沢を中心に 8 名の死者を出した豪雨災害を受け、防災の意識の高まる中、岡谷小学校施設の耐震化を図るための検討が、平成 23 年から進められた。現在の校舎の安全性に対して幾多の問題があることから、将来にわたって安全な教育を受けられる環境を確保することを目的に、有識者を含め 19 人の委員が委嘱され「岡谷小あり方検討委員会」が平成 25 年 5 月 27 日に設置された。

委員長 八幡 義雄 下水道公社中信管理事務所長
副委員長 林 幸三 岡谷区長



●岡谷小学校の建物等の現状

岡谷小学校は歴史が古く、明治 42 年に山を削り盛り土をして現在の丘の上に建設されたが、当時は大型機械が無い頃に盛り土されたために十分締め固めがされていない（N 値が 3～5 と軟弱な地層が厚いところで 10m ほど堆積している）

従って、盛り土部分には元の地形を滑り面とする流動が見られ、各所建物に変状を起こしている。北校舎玄関や南校舎の東側教室では梁がたわみ、3本の金属製の支柱で支えられている。

●地形的制約や規制

① 急傾斜地崩壊危険区域

現在の岡谷小学校を囲むように、急傾斜地崩壊危険区域として 3 か所指定されている。→「出の洞、山手町、鳴沢」

② 平成 20 年に土砂災害防止法の土石流警戒区域の指定

通学路となっている「出の洞沢」が土石流危険区域に指定された。

③ 平成 21 年に土砂災害防止法の急傾斜特別警戒区域の指定

岡谷小学校に通じる道路が危険区域に指定されている。なお、旧通産省地質調査所資料によると、岡谷小学校を南北に活断層が走っている。



●分科会方式を採用

まず、岡谷小の現在の状況を知るために現地調査を始め、地域の抱える背景についての知識を深めた。現地存続について、幾多の課題が議論されてなかなか先に進めないことについての批判が出され、より議論をスムーズに進めるため分科会方式に改めた。

① 現地存続分科会 古本 吉倫 長野工業高等専門学校教授

② 移転分科会 森本 健一 信州豊南短期大学学長

③ 統合・分散分科会 八幡 義雄 下水道公社中信管理事務所長

現地調査を含め、計 13 回委員会が開催され議論を深めた。地元からぜひ現地存続をとの陳情が市に提出されたが、将来にわたって安全な環境で学ぶことを最優先で議論を深め、提言書をまとめることになった。提言書の中で委員会として絞り込むことは控え、出された意見を付して、平成 26 年 6 月 26 日 今井竜五市長同席のもと、八幡委員長から草間市教委委員長に提言書を手渡すことができた。

●提言の骨子

- ・ 現地存続や移転は、長期の後期を要する等現実的ではなく、最寄りの小学校への統合分散がやむを得ない選択と考える。
- ・ 児童の保護者、関係者への十分な配慮を大切にしてほしい。準備期間の短さから早期に当事者を交えた準備委員会の設置など、可能な限りの対応が必要。
- ・ 岡谷小が残せなくても、敷地に対する安全策を確保したうえで、児童が利用できる学びの場や地域の憩いの場などとして敷地の活用を図って欲しい。
- ・ 今回の岡谷小の件を少子化や人口減少社会が進展する中、将来の児童数を見据えた市の全体の適正な学校配置を見直す契機にしてほしい。

●その後の経過

岡谷市教育委員会は 6 月 26 日の「岡谷小学校あり方委員会の提言を受け、7 回にわたり非公開で協議を進めてきたが 7 月 1 日検討内容を公表した。岡谷小学校は平成 27 年度をもって使用をやめ、平成 28 年度から隣接する神明小学校、田中小学校に統合する方向となった。具体的に進めるにあたり校長先生など直接関係する人が参加する学校統合推進委員会設置し、話し合いに入った。

信州ネットSUWA 秋のイベント報告

信州ネットSUWAでは、自然エネルギーに興味を持ってもらえるよう、自然エネルギーを楽しんでもらおうとの主旨から、春には岡谷の柴宮館にて、秋には、9/13 原村の自由農園と、10/25, 26 原村の八ヶ岳中央実践農業大学校にて、2回、自然エネルギー関連商品の展示とワークショップを行いました。

ここでは、秋の2回の様子を報告致します。

2014.09.13 (土曜日)

秋のイベント「みんなで森の炎を楽しもう」(第1弾)

9月13日(土曜日)に、原村の自由農園さんの駐車場をお借りして、秋のイベントを行いました。

出店社は、サンケイ商事、ソーラーLED普及協会、ケンズメタルワーク、スワテック、コウ・キタダ建築設計工房、丸高蔵でした。また、自然エネルギーネットまつもとの代表平島安人さんによるロケットストーブのワークショップや、平出さんの自然エネルギーグッズを利用したカフェも登場しました。

サンケイ商事さんはペレットストーブの実演による提案を行っていました。また参考出品として、長崎さんが組み立てた太陽温熱器の実演もありましたが、意外に早くお湯を作るのに驚きました。TNP(小坂さん)の「ヨビ電365」も参考出品していました。ソーラーLED普及協会さんは、災害時に太陽光発電により利用出来る水濾過装置の提案をしていました。ケンズメタルワークさんでは、ロケットストーブの製品版「ロケットキッチンクックくん」を使用してピザも焼くなどの実演もありました。スワテック建設さんは、住宅用太陽光発電と断熱施工の提案などを行っていました。コウ・キタダ建築設計工房の北田さんは、鉄平石を保温材に使う提案を行っていました。その地域毎の素材をうまく利用した試みです。丸高蔵は食物こそ元祖自然エネルギーとして、お味噌および鯖の缶詰を販売しました。

ワークショップには、定員10名のところ12人の方が参加して頂き大変盛況でした。

やはり、大勢の来店者がいる場所でのイベントは、イベントのみでの集客を行うより大変効果的でした。



2014. 10. 25, 26 (土曜、日曜)

秋のイベント「みんなで森の炎を楽しもう」第2弾

10月24日(土曜)、25日(日曜)、原村の八ヶ岳中央実践大学校で行われた「収穫祭」の一隅に出店しました。

当日は快晴に恵まれ、大きなイベントの賑わいの中、たのしいイベントになったと思います。収穫祭への参加申込が遅かったため、スペースが十分確保できず、火を燃やせる場所と火の燃やせない場所の2カ所に別れての出店となりました。通常駐車場として使用されている、売店のすぐ上の位置には、ペレットストーブなど、実際に火を燃やしたい製品を並べ、展示のみで済むものとワークショップは、広い芝地の上の方に場所を頂きました。

当初、その先のエリアで熱気球が上がるので、熱気球に乗りに来る方が、立ち寄りやすいだろうとの考えで、芝地の上部に場所を確保しましたが、結果的には、熱気球の方は乗り場の方へ並ぶだけで、我々の展示スペースへは、なかなか人が立ち寄らず、残念な結果となりました。

ペレットストーブを並べた方のエリアは、入り口にあたるため、大勢の方に立ち寄って頂けました。

出店社としては、スワテック建設さん、ソーラーLED普及協会さん、サンケイ商事さん(だん暖ライフさん協力)、カラマツストーブ普及組合さんでした、またロケットストーブのワークショップは、自然エネルギーネットまつもとの平島さん、ウッドガスストーブのワークショップは中野あやさん、カフェは平出彰子さん(TNPさん協力)により行われました。

ワークショップは、ロケットストーブには11人の参加者と部品購入の方が1名、ウッドガスストーブには8人の参加者がいました。

大きなイベントのため、来場者数は大変多く、このような場所への出店は、来年も続けたいと思いました。私は、結果的に2日間とも参加出来ませんでしたので、この文章は、参加された方から聞いてまとめさせていただきました。



この気球は、信州ネット SUWA とは関係ありませんが、こんなイベントも同時に行われていました。

セントルイス訪問記 「また増えました！」

諏訪湖クラブ理事 金子 田美

皆様よくご承知のように、「国際交流」の大きな楽しさはやはり異国の方々と直接に文字どおり「交流する」ところにあります。過去何回かのホストファミリーの経験は今でも私の財産です。居ながらにして異文化体験ができます。

そんな中で、19年前パークウェイサウス高校の生徒を引率し来諏され私方にホームステイして下さったフローレンス・テンホールダーさんとの生活は特に思い出深いものです。彼女はパークウェイサウス高校でのアジア、特に日本や日本語を学ぶカリキュラムを始め推進するにあたり非常に尽力なさった方と聞いております。短い滞在期間でしたが積極的に楽しみ学ばれました。まだ元気だった母から俳画やちぎり絵を習い、帰国後早速生徒たちに教えたちぎり絵の作品写真を送って下さいました。とても個人的なことも話され、こんなにも気をゆるしてくださっているのかと驚くぐらいでした。

今回のセントルイス市訪問を決めた大きな理由はそのフローレンス・テンホールダーさんにお会いしたいと思ったからです。すっかり無沙汰してしまっていて・・・ぎりぎりに日程詳細をお送りしましたが・・・お会いできれば19年ぶりです。そして、来て下さいました。ナップさんのお宅での歓迎ハロウインパーティーに。元副校長のセーラさんとそのご主人に支えられるようにしてゆっくり歩いてこられる長身の彼女。お会いできる確信がなかっただけに思わず駆け寄り抱きつきました。ちびの私はまるで大人にくっついた子供のように見えたことでしょう。足元が少々おぼつかないところこそあれ、背筋をピンと伸ばしにこやかに話される様子は19年前と全然変わっていません。彼女は、二人でつけた我が息子のあだなまで覚えていて、その時の様子などを思いだし、またまた二人で大笑い。限られたひと時でしたが旧交を温めることができました。基本的にはsnail mailが好きなのですが、今はメールという便利なものがありますので以前よりひんぱんに連絡を取り合うことができそうです。フローレンスさんの件では名取さんもパークウェイサウス高校に一生

懸命メールで連絡をして下さったことと思います。ありがとうございました。

シカゴからの帰路のこと、隣り合わせたのは素朴な感じの老婦人。何かと私を頼りになさるのですが・・・ベトナム人。日本語はもちろん英語も中国語も通じない。結局は、口ほどにものを言う「目」と、「身振り手振り」で何とか交信。言葉の通じないもどかさを感じながらも「ま、何とかなるさ」で、プチ国際交流。最後は握手をしてお別れ。もちろん、セントルイスではプチではありません。が、あわただしくあっという間に楽しい時間は過ぎてしまいました。もっともっと現地のいろいろな方々とお話したかったな～最後まで手を振って見送って下さっていたキャシーさんやお会いしたさまざまな方々のお顔を思い出しながら・・・ありがとう！今度は皆さん諏訪でですね。ホームステイもありかな。両市のますますの友好を祈っております。

最終日の朝ミシガン湖岸まで行ってきました。ホテルから歩ける距離。昨日バスで立ち寄ったところのようです。ジョギングしている人、ゆっくり散歩している人、水面を泳いでいる鴨。ひんやりした空気に遠くに見える水平線。かもめがよちよち私と一緒に歩いてくれました。今思い出しても心を穏やかにのびやかにしてくれるひと時でした。お会いしたりお話ししたりはかないませんでした。ミシガン湖近在の友たちに思いをはせたひと時でもありました。

4月に参加を申し込んでから半年、一時はキャンセルも考えるようなこともありましたが、セントルイス市・諏訪市友好40周年の節目の訪米にご一緒できて感謝です。そこに行ったからこそ味わえるたくさんの喜びや感動。またこの旅行にご一緒したからこそお知り合いになれたり、より親しくなれた方々。お陰様で私の心の財産がまた増えました。皆様本当にありがとうございました。また最後のデイナーでは思わず古希の誕生日を祝っていただきました。ハッピーバースデーの歌なんて何年、いや何十年ぶりでしょう。よい思い出をありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



10月25日から一週間、諏訪国際交流協会(沖野外輝夫会長)一行23名が 姉妹都市セントルイスを訪問いたしました

ポール八段とお弟子さんたち

諏訪湖クラブ理事 高木 保夫

ポール・T・田部さんは、1933年（昭和8年）3月のお生まれです。渡米前8月に岩波好子理事のご紹介で、諏訪でお会いできました。長年ボーイングの技術者をなさって、現在も日米宇宙航空技術コンサルティングの社長をなさっておいでです。旧満洲で航空機乗員養成所に学ばれ、広島へ帰国。高校時代は生徒会長もなされ、早稲田ではテニス選手としてご活躍。今上陛下ともご縁があったとか。事前のメールで現地の週間天気予報や、ミシシッピ川クルーズディナーでの服装などもご教示いただきました。

10月26日は約束の8時半に、白いリモジン（10人乗り）がホテルに到着。柔道八段のポールさんは、トム、マイクという高段位のお弟子さんご両名をお連れくださいました。ドライバーとは別に、終日おもてなしくださる屈強の二人です。諏訪勢6名が、ここへ乗り込み出発。ゲートウェイアーチから、カーニナルス・スタジアムそしてワイナリー観光へとドライブしました。ワイナリーまで2時間ありましたが、ポールさんは、「酒を飲むのしか友だちにしない」主義で、車中ではシャンパン、ビール、ワインと飲んだり、飲んだりの道中となりました。マイクさんは、テネシー州メンフィスから5時間ドライブして駆けつけて、師匠の友人を歓待してくれました。27日の朝イチでコンピュータ関係の仕事に戻るそうです。紅葉の中、川の合流点、湧水などを解説いただきました。



ゲートウェイアーチにて
ポールさんとお弟子のトムさんマイク
さんと大和撫子



トムさんの奥様が七面鳥を切り分けて
います

ストーンヒル・ワイナリーでは、オーナー夫妻の出迎えを受け3時間滞在しました。歓談中には、小松郁俊先生から長野県の医療事情についての講義もありました。個人の責任で診断書を作成する医師の重責がひしひしと伝わるお話しでした。ワインはちょっと濃いドイツ系をしっかりといただき、試飲もオーナーのお薦めを次々とあけて堪能しました。「お酒を飲む諏訪のトモダチぶり」を十分果たし、帰路の車中是一同お昼寝タイムでした。

田部さんご自宅では、まち子夫人の出迎えを頂きました。林はるみさんとは、ふるさとはがご近所とのことで盛り上がりました。地下が、ワンフロアで「居酒屋たなべ」となっております。ミッチェル・ヨシコさん、トムさんご家族、トレーシーさんも加わり大いに盛り上がりました。ポール八段とお弟子さんの友情に心から感謝いたします。



居酒屋たなべのカウンターです



田部さんが天ぷらを揚げています
今度諏訪から、割烹着をプレゼント
します

- 第 69 回 日 時 : H26 5 月 18 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野、金子、長崎政、八幡、宮坂、宮原、長崎功、五味、市川、高木
内 容 :
1 総会について
2 チャリティウオークについて (金子副会長)
3 その他 「すわまちくらぶ」について など
- 第 70 回 日 時 : H26 6 月 22 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野、小林、金子、宮原、八幡、宮坂、五味、市川、佐久、高木
内 容 :
1 総会について
2 チャリティウオークのまとめについて
3 「つなごう すわ湖」酸素濃度計測機のお披露目会について
4 その他 ヒシ刈り、ヒシのたい肥化について
保護司の活動について (小林副会長)
岡谷小学校の移転について (八幡理事) など
- 第 71 回 日 時 : H26 7 月 20 日 (日) 12:00~13:20
会 場 : 信州大学山地水環境教育研究センター
出席者 : 沖野、金子、八幡、宮坂、五味、井上、高木
内 容 :
1 チャリティウオークのまとめについて
2 諏訪湖クリーンフェスティバルについて
9 月 7 日 (日) に開催、信州エネルギーネットと合同で参加
- 第 72 回 日 時 : H26 9 月 21 日 (日) 午前 10 時~11 時半
出席者 : 沖野、金子、長崎政、八幡、宮坂、五味、小口さ、高木
内 容 :
1 工業メッセについて
2 鮭文化シンポジウム
3 下水道処理場の新たな役割について
4 ハザードマップについて
5 アートカフェについて
6 立川流甲州ツアーについて
7 信州ネットSUWA イベントについて
8 その他 12 月の拡大理事会 (忘年会) について
- 第 73 回 日 時 : H26 10 月 19 日 (日) 午前 10 時~11 時半
出席者 : 沖野、金子 (田)、宮坂 (平)、八幡、五味
内 容 :
1 報告 平成 26 年 10 月 16 日~18 日に開催の諏訪圏工業メッセについて
2 12 月拡大理事会と忘年会について (予報) :
3 チャリティー・ウオークのとりまとめについて : CD 化の方向で編集
4 諏訪湖クラブニュース No21 の発行について
- 第 74 回 日 時 : H26 11 月 16 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野、金子、長崎政、八幡、宮坂、五味、北原正義、高木
内 容 :
1 12 月 21 日 (日) 拡大理事会 (忘年会) について
3 時よりすわまちくらぶにて、5 時より忘年会
2 諏訪湖の漁場活性化シンポジウム (沖野会長より)
3 まちづくり関係について (五味理事より)
4 第 5 回下水道エネルギー利用研究会 (八幡理事より)
5 チャリティウオークのまとめについて (八幡理事)
6 セントルイス訪問について (金子副会長)
7 その他 ニュースについて など